

学校運営協議会議事録

|        |           |
|--------|-----------|
| 校名     | 府立西淀川支援学校 |
| (准)校長名 | 貴志 英彦     |

|         |   |
|---------|---|
| 開催日時    | 令和7年12月4日(木)10:00 ~ 12:00   |
| 開催場所    | 府立西淀川支援学校 コミュニティルーム   |
| 出席者(委員) | 山中会長 中西副会長 大槻委員 西野委員 中尾委員 田中委員  |
| 出席者(学校) | 貴志校長 中尾事務長 西田教頭 大石教頭 平尾首席 山田首席 曾利首席   |
| 傍聴者     | なし  |
| 協議資料    | 1 国立特別支援教育総合研究所 研究協力について<br>2 学校教育自己診断 結果と考察<br>3 腰痛予防対策費(ノーリフティング・介護リフト検証事業)概要<br>4 令和7年度学校経営計画及び学校評価(中間評価)<br>5 PTAのNPO法人化<br>当日追加資料 NPO法人と一般社団法人の比較表 |

議題等(次第順)

●議事

- 1 授業見学(自立活動:移動支援機器)  
国立特別支援教育総合研究所 研究協力について
- 2 学校教育自己診断について  
腰痛予防対策費(ノーリフティング・介護リフト検証事業)概要
- 3 令和7年度学校経営計画および学校評価(中間評価)について
- 4 PTAの活動と目標について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 1 授業見学(自立活動:移動支援機器) 国立特別支援教育総合研究所研究協力について  
(質問)  
・ジョイスティックを使うことが可能な児童生徒であれば、電動車椅子を使えるのではないのか？  
⇒低年齢での電動車椅子の申請が難しい場合があるため。  
・立位台に乗っての移動支援機器についてどのように活用しているのか知りたい？  
⇒楽しい取り組みと組み合わせることで立つことへの意欲につなげている。
- 2 学校教育自己診断について 腰痛予防対策費(ノーリフティング・介護リフト検証事業)概要  
(質問)  
・介護リフトの利用率はどの程度か？  
⇒あまり進んでいない。  
・学校で重大ないじめと、地域の人たちから意見を聞く機会を持っている、についてアンケート結果から「あてはまらない」の回答があるが、該当する件はあるか。  
⇒該当するような件に心当たりはなく、無記名のアンケートのため詳細は不明。  
・今年度から保護者の回答はWebアンケートに変更されているが、どのように周知し、Webの既読者はどの程度か？  
⇒安心メール(学校からのメールでの保護者連絡ツール)で通知。既読者の程度は把握していない。  
・いじめに関する項目は、本校では実態に合わないと思うが、アンケートに入れるように何か指示があるのか？  
⇒府の指示により、学校教育自己診断にいじめに関する項目が必須。  
(意見)  
・本校で使用している介護リフトは着脱に手間がかかる。そのため、利用が低調なのだろう。利用率アップのポイントの一つめ、旗振り役が繰り返し利用を促すこと。二つめは、背中が楽に感じる、教員の誰が操作しても介助の質が均一という、児童生徒の気持ちを教員同士で共有すること。結果として、児童生徒と教員のつながりや教員の腰痛予防につながっていく。  
・安心メール、通学バス、出欠連絡と別々のアプリ。学校ホームページも。更新されていても、トップページは同一。使い勝手が良く、見やすいものにしていく工夫をしてほしい。  
・アンケートを実施して満足することなく、分析考察に力を入れて改善を目指してほしい。
- 3 令和7年度学校経営計画および学校評価(中間評価)について  
(質問)  
・新校務処理システム「賢者」とはどういったものか？  
⇒学校内になる帳簿(出席簿、個別の教育支援計画、個別の教育指導計画等)を一つのシステムで管理するもの。
- 4 PTAの活動と目標について  
(意見)  
・役員に活動報酬としてお金を払って済ませることは楽だが、子どものためと思ってボランティアを徹底してはどうか。  
・学校の保護者(PTA活動)は年々役員が変わり、意欲に幅がある場合があるため、法人化を目指す場合、安定と継続は難しい。法人化する場合、将来にわたりどのように役割を誰が担うかを考えておく必要がある。

次の会議日程

|    |               |
|----|---------------|
| 日時 | 令和8年2月19日(木)  |
| 会場 | 西淀川支援学校 2階図書室 |